

災害概略シート

項 目	内 容
災害の名称	1888 磐梯山噴火
災害の種別	火山災害
概 要	水蒸気爆発型の噴火に伴う岩屑なだれ、土石流、爆風により多大な被害が発生。
時 代	近代（明治時代）
発生年月日	1888年（明治21年）7月15日（7時30分頃）
発生場所	磐梯山（現在の福島県耶麻郡猪苗代町、磐梯町、北塩原村にまたがる地域が直接的な被害を受けた）
被災規模	死亡者477名、負傷者28名
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・明治以降の日本における最大規模の火山災害 ・山体崩壊による大量の岩屑なだれは、多数の住民を犠牲にするとともに、川をせき止め多くの湖沼を形成した。 ・山体崩壊による堆積土砂により、その後、長瀬川では洪水が頻発した。